

今回の防災特集では、津波についてお知らせします。

松前町では、過去に渡島大島の噴火、日本海中部地震、北海道南西沖地震などにより津波が押し寄せています。

津波についての知識を深め、日頃から災害に備えましょう。

地震が発生した場合、直ちに高台へ避難しましょう。

## 津波の被害から身を守るために

### 日頃から発生に備える

- 地域の地形、避難所や高台の位置を確認しておきましょう。
- 家族や職場、学校などで避難ルートやルールを確認しておきましょう。
- 要配慮者の避難方法を決めておきましょう。
- 冬季を想定した準備もしておきましょう。



### 地震発生から津波が来るまでに

- 海や川を見に行ってはけません。
- 高台など安全な場所に避難しましょう。



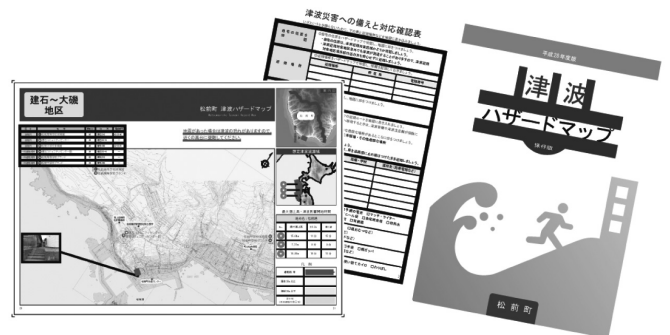
### 避難した後も

- 津波は繰り返します。警報・注意報が解除されるまでは戻ってはけません。
- 二波目以降に一波目よりも大きな津波が来る可能性があります。



## ハザードマップを確認しましょう

平成29年に作成し配布した「津波ハザードマップ」は北海道が公表した津波浸水想定をもとに作成したものであり、数百年から千年に1回程度発生するおそれがある、最大クラスの津波を想定したもので、松前町の最高水位は、松前小島で26.3m、離島を除いての最高水位は松前港の北側（建石）で20.4mを想定しています。



### 津波ハザードマップのチェックポイント

- 津波浸水域予想（ハザードマップのピンクで塗られた区域）と第一波到達時間
- 自宅の標高や海からの距離と、自宅から最寄りの避難場所までのルート
- 家族それぞれの職場や学校から避難場所へのルート
- 買い物や遊びに行くといった生活圏にある津波避難場所、避難路の確認

ハザードマップをお持ちでない方は、役場窓口と各支所で配布していますので、お受け取りください。

## 地震発生から津波が来るまで

地震が発生したら、まず揺れから身を守る行動をとりましょう。

揺れが収まったら、すぐに高台へ避難行動を開始しましょう。

特に、揺れが強い（震度4以上）とき、または揺れがゆっくりと長く続くときは警報や注意報を待たずに急いで避難しましょう。



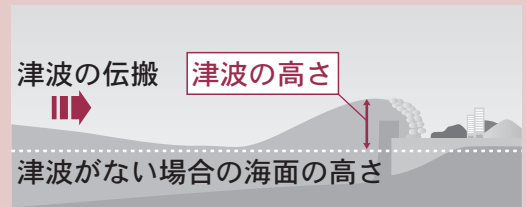
### 長い周期でゆっくりとした揺れを感じたら

突き上げるような揺れを伴う内陸型地震に比べ、津波を引き起こすプレート境界型地震は、長い周期で揺れるのが特徴です。※地震については、町広報12月号6～7ページをご覧ください。

## 津波警報・注意報と予想される津波の高さ

	予想される津波の高さ	
	高さの区分	発表する値
大津波警報	10m < 予想高さ	10m超
	5 m < 予想高さ ≤ 10m	10m
	3 m < 予想高さ ≤ 5 m	5 m
津波警報	1 m < 予想高さ ≤ 3 m	3 m
津波注意報	0.2m < 予想高さ ≤ 1 m	1 m

「津波の高さ」とは

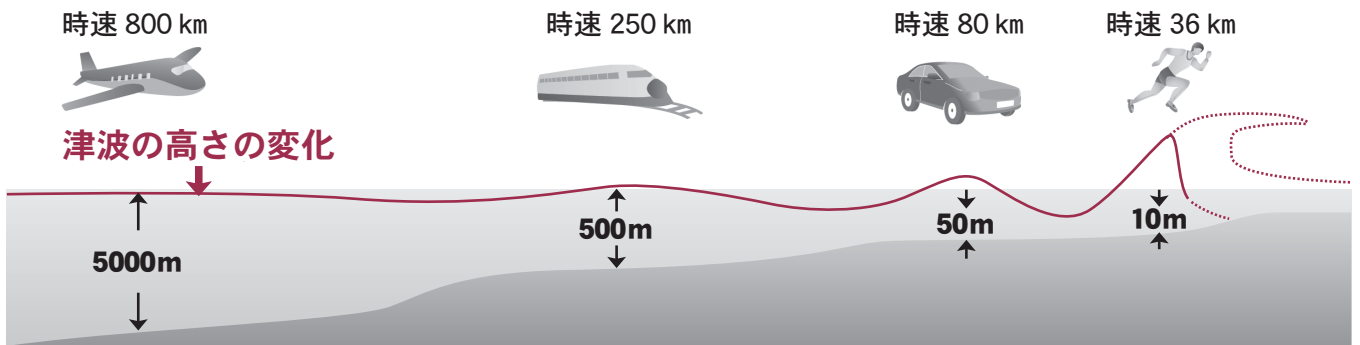


「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。

津波が陸上で崖などを駆け上がった高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

## 津波の速さ

津波の伝わる速さは海が深いほど速く、沖合ではジェット機に匹敵するほどです。陸地に近づき、水深が浅くなると速度は遅くなりますが、波は高くなります。水深10m程度の浅瀬でも、オリンピックの短距離選手並みの速さで陸上に押し寄せるので、普通の人が走って逃げきれぬものではありません。



- ◆津波は繰り返し来る…津波は繰り返し襲ってきて第二波以降が最大となる可能性もあります。
- ◆津波は引き潮から始まるとは限らない…津波の前には必ず潮が引くということはありません。
- ◆遠くからくる津波…地球の反対側で発生した津波が押し寄せる場合もあります。

◆ 津波が想定される場合は、直ちに高台へ避難しましょう!! ◆